

# 事 業 計 画 書

事業名	沼津影絵畳プロジェクト
実施場所	沼津市白銀町2-14 Artspace入サ岩崎商店
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 2025年6月1日 ~ 2025年9月30日

## ◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

「畳」を共通項として、地域住民同士の交流を促すプロジェクト。沼津市の畠職人さんとアーティストが協働制作を行い、元畠材料卸問屋であるArtspace入サ岩崎商店にて、発表を実施する。アーティストの滞在制作やイベントを通して、地域住民同士を繋げ、新たなコミュニティの創出を試みる。

## ◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

減少傾向にある畠屋と畠職人の存在と、失われつつある畠文化への地域の関わりを見直し、文化継承のきっかけをつくることを目的としています。かつて畠材料卸問屋だった空き家を活用し、沼津市の畠職人とアーティストが協働制作を行います。地域住民へのインタビューをもとに、畠に地域の記憶や暮らしを描き出し、展示やワークショップを開催。地域と畠文化の再接続を図り、次世代への継承と新たな地域交流を促します。

## ◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
2025年4月	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。 ※ハード部門については、12月31日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。 実施スケジュール 企画実施、スケジュール確保
2025年5月	地域住民へのインタビュー、稻村畠店滞在制作（予定）
2025年6月	作品制作、広報開始（チラシ配布・SNS発信）
2025年7月	作品制作、展覧会開始、クロストークイベント
2025年9月	振り返り

## ◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。

### 畳文化の再認識と継承

地域住民が畳に触れる機会を持つことで、和室文化や畳の魅力を再発見し、次世代へと伝えていく土壌が育まれます。

### 地域住民の主体的な参加と世代間交流の活性化

住民インタビューやワークショップを通じて、高齢者から若者までが関わり、世代を超えたコミュニケーションが生まれます。

### アーティストと地域の協働による新たな表現とつながりの創出

外部の視点を持つアーティストとの協働制作により、地域に新しい視点や刺激がもたらされ、文化的な創造力が高まります。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。 展示中来場者数：150人程度 周知企業：5社程度 イベント開催各：30人程度	指標の検証方法	※左記指標の検証方法を記載してください。  来場者数のカウント記録 参加者アンケートで満足度や関心を数値化 協力企業・団体数を把握
------	---	---------	---

## ◎評価の視点に合致していることの説明

※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的必要性	※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。  現代の住環境や生活様式の変化により、畳文化の衰退が進み、畳職人の減少が課題となっている。本プロジェクトは、畳の魅力や可能性を再認識し、地域住民・外部作家・畳職人が共に学び合う機会を創出することで、畳文化の継承と職人育成への関心を喚起する社会的意義がある。
地域性	※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。 沼津という地域に根ざした取り組みであり、かつて畳材料卸問屋であった場所を活用することで、地域の歴史や記憶と密接に結びついた活動となっている。地域の畳屋と外部作家が協働し、住民を巻き込むことで、ローカルな文化資源を活かした地域再生のモデルとなる。
独創性	※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。 畳という伝統素材を、外部作家とのコラボレーションにより「表現の素材」として再定義し、アートと職人技の融合を目指している点がユニーク。 素材としての畳に新たな価値や美的視点を加えることで、畳文化を現代的に再解釈する独創的な試みである。
実現性	※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。 すでに畳職人や作家、アートスペースの協力体制が見込まれており、具体的な開催場所も確保されているため、実行可能性は高い。 小規模からスタートし、継続開催を通じてノウハウを蓄積しながら拡大していくことができる現実的な設計となっている。
発展性	※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。 イベントを継続的に開催することで、畳に関心をもつ若者や新たな作り手を生む土壌ができる、将来的には畳職人の育成・確保にもつながる。 また、畳をテーマにしたアートイベントやワークショップは他地域でも展開可能であり、地域文化の発信モデルとしての広がりが期待される。

## ◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

次年度は、今年度の取り組みを踏まえ、畳の表現や可能性をより多面的に深めていく活動を開いていきたいと考えている。これまでのように、外部の作家と協働して畳の新たな表現を摸索するイベントやワークショップを継続して開催し、地域住民とともに畳の魅力や価値について考える機会を提供していく。

加えて、今後は外部の畳職人やプロダクトデザイナーとも連携し、畳という素材を活かした製品開発にも取り組む予定である。これにより、伝統的な畳文化を現代の生活様式の中に再接続させ、新たな需要や可能性を創出していくことを目指す。

こうした活動を通じて、畳文化の継承とともに、その担い手となる人材の育成にも力を入れていく。畳に触れ、考え、表現する場を持続的に設けることで、畳が単なる伝統的な道具ではなく、未来に向けた文化資源として再認識されることを願っている。

#### ◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。